

**製品名: CBP20 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08042**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	18kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NCBP2 NCBP2; CBP20; PIG55; Nuclear cap-binding protein subunit 2; 20 kDa nuclear cap-binding protein; Cell proliferation-inducing gene 55 protein; NCBP 20 kDa subunit; CBP20; NCBP-interacting protein 1; NIP1
別名	
遺伝子 ID	22916.0
SwissProt ID	P52298
免疫原	抗血清はヒト NCBP2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 10-59

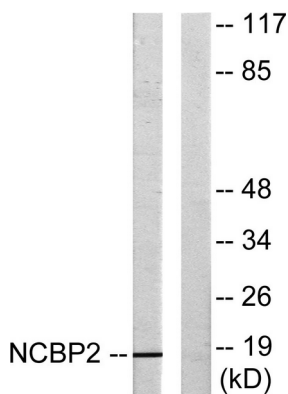
**背景**

この遺伝子産物は、核キャップ結合タンパク質複合体（CBC）の構成要素であり、核質内の新生 pre-mRNA のモノメチル化された 5'キャップに結合する。コードされているタンパク質は、RNA 結合タンパク質に一般的に見られる RNP ドメインを有し、キャップ結合活性を有する。CBC は pre-mRNA のスプライシング、3'末端プロセッシング、RNA 核外輸送、およびナンセンス鎖を介した mRNA 分解を促進する。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: U snRNA の核外輸送を媒介する。5'キャップされた mRNA に結合する。、PTM:DNA 損傷時にリン酸化される（おそらく ATM または ATR による）。、類似性:RRM NCBP2 ファミリーに属する。、類似性:1つの RRM (RNA 認識モチーフ) ドメインを含む。、サブユニット:RNUXA/PHAX、NCBP1、NCBP2、RAN、XPO1、および m7G キャップされた RNA を含む U snRNA エクスポート複合体に存在（類似性による）。 NCBP1 とヘテロ二量体を形成する。 NCBP1、NCBP2、RNPS1、RBM8A、SRRM1、NXF1、UPF3B、UPF2、THOC4、および/または REFBP2 を含むエクソンジャンクション複合体 (EJC) の一部である。、

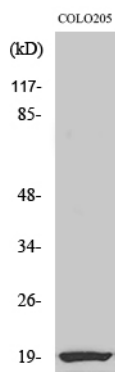
## 研究分野

スプライソソーム;

## 画像データ



NCBP2 抗体を用いた COLO205 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロックされている。



CBP20 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析